



[トップページ](#)

[大使館案内](#)

[二国間関係](#)

[領事情報](#)

[政治経済情報](#)

[開発協力](#)

[広報文化](#)

[重要外交課題](#)

[在サンタクルス領事事務所案内](#)

[リンク一覧](#)

[トップページ](#) > 2023年3月 ボリビア経済情勢

2023年3月 ボリビア経済情勢

令和5年4月1日

1 経済指標など

- (1) インフレ率：マイナス0.08%。2023年1月からの累計はマイナス0.19%。
- (2) 都市部失業率：3月からデータ未更新。（前月：4.77%）
- (3) 外貨準備高：2月8日からデータ未更新（2月8日：35億3,800万米ドル）
- (4) 対外債務：2022年10月からデータ未更新（2022年10月：131億1,200万米ドル）。
- (5) 対内債務：161億1,400万米ドル（前月：161億1,150万米ドル）で、前年同月比プラス13.6%。
- (6) 天然ガス輸出額：1億9,100万米ドル、累計5億7,500万米ドル（前月：1億8,100万米ドル）で、前年同月比マイナス20.7%、前年累計同月比マイナス16%。
- (7) 鉱物資源全体の輸出額：2億1,900万米ドル（前月：1億6,500万米ドル）で、前年同月比マイナス19.2%。
- (8) 燃料輸入額（ガソリン及びディーゼル）：3億2,800万米ドル（前月：1億7,800万米ドル）で、前年同月比プラス43.6%。
- (9) 貿易収支：1億2,100万米ドルの赤字（前月：6,600万米ドルの赤字）、前年1月～3月累計2億1,500万米ドルの赤字。前年同月：2億7,200万米ドルの黒字、前年1月～3月累計8億2,600万米ドルの黒字。
- (10) 金輸出額：2億7,100万米ドル（前月：2億1,500万米ドル）で、前年同月比プラス1.1%。

2 国内経済関連

(1) 国内における米ドル不足対策

ア 3月6日、ボリビア中央銀行（BCB）は、ウニオン銀行を通じて、公式為替レート（6.96ボリビアーノス）による米ドル直接販売を開始した。

イ 3月20日、アルコン大統領府省広報担当次官は、BCBは当面無期限にて米ドルの直接販売を続ける旨発表した。

(2) 外貨準備高の減少関連

ア 特別引出権（SDR）の保有を処分（3月15日）

ボリビア中央銀行（BCB）は、外貨準備高の流動性を強化するために、BCBが管理する外貨準備高の一部である特別引出権（SDR）のうち3億1,000万米ドルに相当する2億290万SDRを交換した旨発表した。

イ カントリーリスクの上昇（3月15日）

米国銀行JPモルガンは、ボリビアのカントリーリスクが初めて1,000ベースポイントを超えたと発表した。ボリビアのカントリーリスクは本年最初の営業日に564であったが、これまでに79%近くも急上昇している。

ウ ソブリン債の暴落

ボリビアのソブリン債が額面1米ドル当たり3月6日の70セントから3月21日の58セントまで急落している。

(3) 信用格付け機関によるソブリン評価格下げ等

ア 3月14日、Fitch Ratings社は、ボリビアの長期ソブリン債の格付けをBからB-（negative）へと引き下げた。

イ 3月15日、Standard and Poor's社は、ボリビアの長期ソブリン格付けを外貨準備の圧迫を理由に「特別ネガティブ・レビュー」に、短期格付けを「肯定」に維持した。

ウ 3月24日、Moody's社は、ボリビアのソブリン債の格付けをB2（Negative）からCaa1に引き下げた。

（4）対アルゼンチン電力輸出

モリナ炭化水素・エネルギー相は、ボリビアが3月13日から送電線「ファナ・アズルデュイ・デ・パディリヤ」を通じて、アルゼンチンへの電力輸出を開始した旨発表した。ボリビアにとり初めての電力海外輸出となる。

（5）リチウム開発関連

ア 直接抽出プラント建設にかかる中国企業との合意（3月1日）

ボリビア・リチウム公社（YLB）と中国のCBCコンソーシアム（CATL、Brunp & CMOC共同事業体）は、ウユニ塩湖及びコイパサ塩湖においてリチウム直接抽出（EDL）プラントの建設を8月に開始するための準備を進めることで合意した。同建設工事は2024年末までに完了する予定であることから、2025年前半には運用開始となる見込み。

イ リチャードソン米南方軍（SOUTHCOM）司令官の発言関連（3月12日）

モリナ炭化水素・エネルギー相は、リチャードソン米南方軍司令官の米国議会証言について、「2006年以来、ボリビアは干渉を認めていない。我々は、リチウムを産業化し、自らの運命を発展させるための主権的なモデルを有している。」旨ツイートしたほか、モラレスMAS党首も「リチャードソンの脅しを、我々は否定する。ラテンアメリカは米国の植民地ではない。」旨ツイートした。

（6）オルコ県における亜鉛精錬所建設計画（3月10日）

ビジャビセンシオ鉱業冶金相は、3億5千万ドルを投資するポトシにおける亜鉛精錬所の建設を保証し、当該プロジェクトのコンセプトと基本設計は完了しており、あとは開発企画省が建設資金を管理・承認するだけであるとした。

3 日本との関係

FOODEX2023への参加

ボリビア企業はワイン、シンガニ、ブラジルナッツ、コーヒー、キヌア、チョコレート、ゴマ、乾燥豆及びハート・オブ・パーム（palmito）等潜在的な商品を表示した。

ブランコ外務省通商・統合担当次官は、展示会への参加に加え、在日ボリビア大使館が、情報交換や貿易提携を行うために、東京商工会議所、国際協力機構（JICA）、日本貿易振興機構（JETRO）ら日本側の関係者とボリビアの実業家の会合を設定した旨述べた。

[◀ 一覧へ戻る](#)

[⬆ このページのトップへ戻る](#)

[法的事項](#) / [アクセシビリティについて](#) / [プライバシーポリシー](#) / [このサイトについて](#)

Copyright(C):2014 在ボリビア日本国大使館